



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月7日

上場会社名 日本ハウズイング株式会社
コード番号 4781 URL <https://www.housing.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 小佐野 台
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務グループマネージャー (氏名) 高山 佳久
四半期報告書提出予定日 2024年2月7日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5379-4141

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	109,131	5.0	3,513	26.5	3,658	25.4	1,716	42.3
2023年3月期第3四半期	103,981	14.2	4,782	1.4	4,901	1.0	2,974	7.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,263百万円 (40.8%) 2023年3月期第3四半期 3,824百万円 (11.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	26.69	
2023年3月期第3四半期	46.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	75,548	44,489	57.6	676.29
2023年3月期	74,378	43,814	57.7	666.96

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 43,493百万円 2023年3月期 42,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		12.00		12.00	24.00
2024年3月期		12.00			
2024年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,200	1.3	7,730	13.7	7,700	11.2	5,000	5.0	77.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8'2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8'2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	64,320,000 株	2023年3月期	64,320,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	7,400 株	2023年3月期	7,400 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	64,312,600 株	2023年3月期3Q	64,312,648 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3'1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	当第3四半期	前年同四半期	前期比
売上高	109,131	103,981	5.0%
営業利益	3,513	4,782	△26.5%
経常利益	3,658	4,901	△25.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,716	2,974	△42.3%

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するもとの、景気の緩やかな回復が続いております。しかしながら、海外景気の下振れ、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に、引き続き十分注意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは、各管理事業の管理ストック拡充に注力するとともに、当社における営繕工事業が好調に推移したことが売上高に寄与いたしました。一方、主に海外子会社において、外注費や材料費が増加したこと等が利益に影響いたしました。

その結果、売上高は109,131百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は3,513百万円（前年同期比26.5%減）、経常利益は3,658百万円（前年同期比25.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,716百万円（前年同期比42.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	当第3四半期	前年同四半期	前期比	当第3四半期	前年同四半期	前期比
マンション管理事業	44,460	42,896	3.6%	3,573	3,490	2.4%
ビル管理事業	12,356	12,224	1.1%	427	443	△3.5%
不動産管理事業	4,465	4,363	2.3%	437	423	3.3%
営繕工事業	47,848	44,497	7.5%	1,673	2,987	△44.0%
消去又は全社	—	—	—	△2,598	△2,562	—
合計	109,131	103,981	5.0%	3,513	4,782	△26.5%

① マンション管理事業

マンション管理事業につきましては、当社において、前連結会計年度に受託した物件が計画通りに稼働したことに加え、管理ストックから派生する周辺事業が好調に推移したことが売上高及び利益に寄与いたしました。

その結果、売上高は44,460百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は3,573百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

② ビル管理事業

ビル管理事業につきましては、ベトナム子会社であるPAN SERVICESが売上高に寄与いたしました。労務費の高騰等が利益に影響いたしました。

その結果、売上高は12,356百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は427百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

③ 不動産管理事業

不動産管理事業につきましては、当社において、リフォーム事業が好調に推移したこと等が売上高及び利益に寄与いたしました。

その結果、売上高は4,465百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は437百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

④ 営繕工事業

営繕工事業につきましては、当社において、大規模修繕工事・一般営繕工事が好調に推移したことが売上高に寄与いたしました。一方、海外子会社において、元請業者からの工期短縮要請に伴い、外注費や材料費の増加を見込んでおりましたが、想定以上の増加となったこと等が利益に影響いたしました。

その結果、売上高は47,848百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は1,673百万円（前年同期比44.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	当第3四半期末	2023年3月期	増減
資 産	75,548	74,378	1,170
負 債	31,059	30,564	494
純 資 産	44,489	43,814	675
うち自己資本	43,493	42,893	600
期末有利子負債	4,379	3,821	558
自己資本比率(%)	57.6	57.7	△0.1

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,170百万円増加し、75,548百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少2,912百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少269百万円、土地の増加4,211百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ494百万円増加し、31,059百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加23百万円、有利子負債の増加558百万円、未払費用の増加613百万円、賞与引当金の減少798百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ675百万円増加し、44,489百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加1,716百万円、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少1,543百万円、為替換算調整勘定の増加375百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月10日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,527	16,614
受取手形、売掛金及び契約資産	26,057	25,788
未成工事支出金	127	182
原材料及び貯蔵品	309	444
その他	1,361	1,436
貸倒引当金	△99	△104
流動資産合計	47,283	44,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,720	5,721
機械装置及び運搬具（純額）	129	132
工具、器具及び備品（純額）	888	784
土地	14,010	18,221
建設仮勘定	0	23
有形固定資産合計	20,748	24,883
無形固定資産		
のれん	1,193	978
その他	1,306	1,395
無形固定資産合計	2,499	2,374
投資その他の資産		
投資有価証券	228	270
関係会社株式	193	219
差入保証金	1,306	1,216
退職給付に係る資産	449	561
繰延税金資産	749	732
その他	1,045	1,054
貸倒引当金	△125	△125
投資その他の資産合計	3,846	3,929
固定資産合計	27,095	31,187
資産合計	74,378	75,548

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,685	12,709
短期借入金	3,821	4,379
未払法人税等	1,422	519
未払費用	2,911	3,525
賞与引当金	1,749	950
工事損失引当金	1	463
その他	4,995	5,459
流動負債合計	27,587	28,007
固定負債		
退職給付に係る負債	1,113	1,149
繰延税金負債	297	278
その他	1,565	1,623
固定負債合計	2,976	3,051
負債合計	30,564	31,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,492	2,492
資本剰余金	1,871	1,871
利益剰余金	37,948	38,121
自己株式	△2	△2
株主資本合計	42,311	42,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	99
為替換算調整勘定	484	860
退職給付に係る調整累計額	50	49
その他の包括利益累計額合計	582	1,009
非支配株主持分	920	995
純資産合計	43,814	44,489
負債純資産合計	74,378	75,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	103,981	109,131
売上原価	80,865	86,621
売上総利益	23,115	22,509
販売費及び一般管理費	18,333	18,996
営業利益	4,782	3,513
営業外収益		
受取利息	23	56
受取配当金	12	7
還付消費税等	—	222
持分法による投資利益	2	18
助成金収入	25	—
投資有価証券売却益	69	10
その他	69	39
営業外収益合計	203	354
営業外費用		
支払利息	45	142
和解金	10	16
固定資産除却損	25	20
その他	2	30
営業外費用合計	84	208
経常利益	4,901	3,658
税金等調整前四半期純利益	4,901	3,658
法人税等	1,788	1,839
四半期純利益	3,112	1,819
非支配株主に帰属する四半期純利益	137	102
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,974	1,716

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,112	1,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	52
為替換算調整勘定	683	392
退職給付に係る調整額	△3	△0
その他の包括利益合計	711	443
四半期包括利益	3,824	2,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,665	2,143
非支配株主に係る四半期包括利益	159	119

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、原則として、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

「電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第43号 2022年8月26日 企業会計基準委員会)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マンション 管理事業	ビル 管理事業	不動産 管理事業	営繕工事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	675	2,660	855	16,589	20,781	—	20,781
一定の期間にわたり移転される財	42,220	9,022	2,117	27,770	81,131	—	81,131
顧客との契約から生じる収益	42,896	11,683	2,973	44,360	101,912	—	101,912
その他の収益	—	541	1,390	137	2,068	—	2,068
外部顧客への売上高	42,896	12,224	4,363	44,497	103,981	—	103,981
セグメント間の内部売上高又は振替高	260	292	70	121	745	△745	—
計	43,156	12,517	4,433	44,619	104,726	△745	103,981
セグメント利益	3,490	443	423	2,987	7,344	△2,562	4,782

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,562百万円は、セグメント間取引消去△69百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△2,492百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マンション 管理事業	ビル 管理事業	不動産 管理事業	営繕工事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	774	2,528	986	17,440	21,730	—	21,730
一定の期間にわたり移転される財	43,685	9,479	2,184	30,251	85,600	—	85,600
顧客との契約から生じる収益	44,460	12,007	3,171	47,692	107,331	—	107,331
その他の収益	—	348	1,294	156	1,799	—	1,799
外部顧客への売上高	44,460	12,356	4,465	47,848	109,131	—	109,131
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	130	29	123	304	△304	—
計	44,481	12,487	4,495	47,972	109,436	△304	109,131
セグメント利益	3,573	427	437	1,673	6,111	△2,598	3,513

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,598百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。